

Yefim Bronfman

イェフイム・ブロンフマン ピアノ・リサイタル

Piano Recital

©Dario Acosta

プロコフィエフ/「戦争ソナタ」全曲演奏会

Prokofiev/The concert of complete War Sonatas



底知れぬエネルギーと濃やかな抒情
凄み際立つ、圧巻の音世界が立ち上がる

日本でのリサイタルは、7年ぶり!
世界中の名だたる指揮者、オーケストラから
共演を熱望されるヴィルトゥオーゾ。
ロシア・ピアノの圧倒的な構築美による、
傑作ソナタを目の当たりにする一夜。

プロコフィエフ/「戦争ソナタ」全曲

ピアノ・ソナタ第6番 イ長調 作品82

Prokofiev: Piano Sonata no. 6 in A major op. 82(1939~40)

ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 作品83

Prokofiev: Piano Sonata no. 7 in B-flat major op. 83(1939~42)

ピアノ・ソナタ第8番 変ロ長調 作品84

Prokofiev: Piano Sonata no. 8 in B-flat major op. 84(1939~44)

2015.3.4 [水]

19:00開演
(18:30開場)

【料金/全席指定】 S¥6,000 A¥5,000

※トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可。
★スカイツリーセット券あり[裏面参照]

★前売開始:9月28日[日]

【ご予約・お問合せ】

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

すみだトリフォニーホール

JR & 東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分 / 東京スカイツリータウン®より徒歩20分

Yefim Bronfman, Piano Recital

イエフィム・ブロンフマン ピアノ・リサイタル

Prokofiev/The concert of complete War Sonatas

プロコフィエフ/「戦争ソナタ」全曲演奏会

ブロンフマンの確かさ

あおさわ たかあきら/音楽評論家 青澤隆明

イエフィム・ブロンフマンが、プロコフィエフの「戦争ソナタ」を弾く。これが日本ではおよそ7年ぶりのリサイタルだ。室内楽や協奏曲では幾度も来日を重ねているが、リサイタルの機会は意外なほどに少ない。しかも、得意のプロコフィエフとなれば、強く期待が高まる。「熊みたいにみえるでしょう」とおどけていたブロンフマンだが、2009年のリサイタル・ツアーのときはインフルエンザに罹り、空港で引き返らされてしまったとき。頑丈なはずのピアノの鉄人が、思いながら、残念な気持ちで次の好機を待ち望んでいた。

ブロンフマンはいつも確かだ。時代を画す偉才たちとのアンサンブルや、ウィーン・フィル、バイエルン放送交響楽団など名オーケストラとの協演でも、しっかりと存在感をもって音楽を導く。フレキシブルな姿勢で作品そのものに語らせようとするなか、潤沢で弾力のある音、しなやかな技巧をはじめ、ブロンフマンの個性は自ずと立ち上ってくる。ソロにしてもそう。壮大なスケールで展開し、機械的なパッセージを鮮明な技巧で乗りこなすときにも、人間の手触りが失われることはない。

しっかりと音を芯から捉えたスケールの大きな表現で楽器を壮重に鳴らすとともに、水際だった弱音の美しさで惹きつける。山のような繊細さ、とでも言えばよいのか、重量感のある質実剛健な佇まいと、透明な弱音でその葉の一枚一枚の輪郭をていねいに描出する細やかさがある。しなやかな弾力でリズムを活かしながら、いっぼうで抒情的な美質を濃やかに歌う。ヴィルトゥオージティという、とかく剛腕な弾きっぷりと華麗さばかりがイメージされやすいが、美しく音を磨き上げ、細部まで緻密に描き出す匠の技が彼には十二分に備わっている。

それに、ブロンフマンのピアノにはちょっと古い、確かな手ざわりがある。ロシアで耕され、ニューヨークで磨かれた、といえは短絡的にすぎるだろうが、いずれにしても彼が敬愛したピアノや弦の巨匠たちの人間的な温度をいまも生きた熱として保つような、懐かしく信頼できる確実さがある。

2007年のリサイタルは、ベートーヴェン、シューマン、ラヴェル、バラキレフという幅広いプログラムだったが、来冬はロシア音楽、なかでもプロコフィエフに卓抜な成果を示してきたブロンフマンの真骨頂が集中して聴ける。リサイタルはもちろん、コンチェルトのアンコールでも好んで披露するのが第7ソナタの終楽章。2014年にはアラン・ギルバート指揮ニューヨーク・フィルとの初演作、リンドベリのピアノ協奏曲第2番の後も弾いたが、それが堂々と、連作のまとまりをもってリサイタルの本篇に据えられるわけだ。

ピアニストとして華々しく活躍したプロコフィエフにとっては核心ともいえるピアノ音楽、とくに並行して書き進められた第6番、第7番、第8番の3つのソナタは、アメリカ、パリ時代を経て、スターリン独裁下であるにも関わらずソヴィエトに帰国した作曲家の傑作群だ。彼の死の5年後にブロンフマンはタシケントで生まれ、10代半ばから国際舞台で活躍し、イスラエルを経て、1989年にはアメリカの市民権を得た。敬愛するギリシヤリヒテルが生きたソ連は、プロコフィエフの天才的作品とともに、言わばピアニストの故郷ともみられる。いまや50代半ばに差しかかったブロンフマンは、20年ほど前の自身の名録音からもさらなる成熟を聴かせるのに違いない。「20年後には、もっと良い音楽家になっていたい。たくさんのレパートリーを手がけ、同じレパートリーではもっといい演奏ができるように」と微笑む謙虚さとともに、現代の巨匠への道をまっすぐ、実直に歩みながら。



イエフィム・ブロンフマン [ピアノ]
Yefim Bronfman [piano]

旧ソ連タシケント生まれ。15歳でイスラエルに移住。イスラエルでは、テル・アヴィヴ大学のルービン音楽院の学長でもあったアリエ・ヴァルディに師事。米国では、ジュリアード音楽院、マールボロ音楽学校、カーティス音楽院で学ぶと共に、ルドルフ・フィルクスニー、レオン・フライシャー、ルドルフ・ゼルキンに師事。89年7月にアメリカの市民権を取得。欧米での活発なリサイタル・ツアーのほか、欧米の主要オーケストラとの共演は近年だけでも枚挙にいとまがない。録音も多数あり。

料金 | S¥6,000 A¥5,000

[全席指定]

※トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可。

スカイツリーセット券: ¥8,500

東京スカイツリー天望デッキ(350m)日付指定入場引換券
+本公演チケットS券+すみだまち処お買物券1000円分

【お申込み】墨田区観光協会チケット担当
03-5637-7121 <http://ch-re.jp/sumida/>

■ご予約・お問合せ:

★前売開始: 9月28日(日)

トリフォニーホールチケットセンター …… 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン… www.triphony.com

e+(イープラス) …… eplus.jp

チケットぴあ [Pコード:241-934] …… 0570-02-9999

ローソンチケット [Lコード:31488] …… 0570-084-003

主催・企画: すみだトリフォニーホール

招聘制作: ジャパン・アーツ

協力: ソニー・ミュージック/キングインターナショナル

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

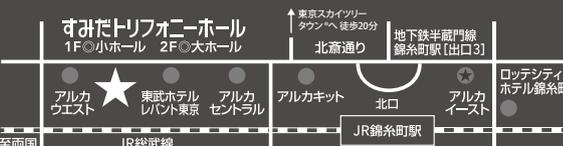
トリフォニーホール託児サービスのご案内

ご予約・お問合せ: 0120-500-315 [平日10:00~17:00]

小学館集英社プロダクションHAS(ハズ)

@TriphonyHall #STH

facebook.com/SumidaTriphonyHall



JR & 東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/東京スカイツリータウン*より徒歩20分

すみだトリフォニーホール

イエフィム・ブロンフマン
Yefim Bronfman,
Piano [ピアノ]



プロコフィエフ:ピアノ協奏曲
&ピアノ・ソナタ全集

- ソニーミュージック(1987-1995年録音)
- CD:88883737242(CD5枚組)
- 輸入盤オープン価格



ヴァルトビューネBOX2009-2011
ベルリン・フィル/ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番

- キングインターナショナル(2009.10.11録音)
- BD:20-59984 ■DVD:20-59988
- 輸入盤オープン価格